

報告書抄録

ふりがな	しもつつみじーいせき ーきゅうせつきじだいへんー							
書名	下堤G遺跡 ー旧石器時代編ー							
副書名								
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者	安田忠市・神田和彦・鹿又喜隆							
編集機関	秋田市教育委員会							
所在地	〒010-0951 秋田県秋田市山王二丁目1番53号 TEL: 018-866-2246 FAX: 018-866-2252							
発行年月日	2013年3月							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号				m ²	原因
しもつつみじーいせき 下堤G遺跡	あきたし ぎょの 秋田市御所野 じぞうでん 地蔵田一丁目地内 旧地名: あきたし よつごや こあじ 秋田市四ツ小屋小阿地 あざしもつつみ 字下堤	05201	299	39度 39分 46秒	140度 9分 41秒	19820802 ～ 19821105	195	秋田新都市開発整備事業に伴う発掘調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
下堤G遺跡	遺物包含地	旧石器時代	礫群3箇所 土坑4基	旧石器 872点 (ナイフ形石器 16点、 台形様石器 20点、石刃 53点、台形剥片 95点、 サイドスクレイパー 1点、 エンドスクレイパー 1点、 二次加工のある剥片 11点、 石核 61点、剥片 338点、 チップ 275点、礫器 1点)		後期旧石器時代前半期の石器群。礫群3箇所、土坑4基検出		
要約	<p>遺跡は、秋田平野南部の御所野台地に所在している。御所野台地は雄物川の河岸段丘であり、地形区分上M2H面（中位段丘面相当）に立地している。旧石器資料は、第IV a・IV b層を中心として、ナイフ形石器・台形様石器・石刃・台形剥片・サイドスクレイパー・エンドスクレイパー・二次加工のある剥片・石核・礫器・剥片・チップが出土し、石器群の特徴から後期旧石器時代前半期後半段階のものと考えられる。</p> <p>また、礫群3箇所、土坑4基が検出された。土坑3基は礫群下部からの検出である。礫群を構成する礫は火熱の影響を受けていると考えられる。</p> <p>主要なツール類は、ナイフ形石器と台形様石器・台形剥片であり、それぞれの石器素材は石刃技法と所謂「米ヶ森技法」により生産されている。</p> <p>本遺跡では、所謂「米ヶ森技法」を示す良好な接合資料が得られている。また、102点の石器が接合する大きな接合資料もあり、これらは原礫を大きく分割した後に、厚手の剥片を剥離し、それを素材として、石刃技法や米ヶ森技法の各剥片生産技術を使い分けていることが確認できる。</p>							